

## 雑司が谷旧宣教師館だより

第10号  
1999年 1月25日発行豊島区立雑司が谷旧宣教師館  
〒171-0032 東京都豊島区雑司が谷1-25-5 ☎FAX(03)3985-4081

## 祝開館10周年記念・ポストカード差し上げます！



雑司が谷旧宣教師館ポストカードより（女子聖学院・小倉義明氏寄贈 絵・湯村京子氏）

雑司が谷旧宣教師館の素敵なポストカードができました。絵を描いてくださったのは、横浜にお住まいの湯村京子さん。絵の余白にはちょっぴり解説もついている、モノトーンですが暖かみのあるペン画です。ポストカードを寄贈してくださったのは、北区中里にある女子聖学院中学校・高等学校校長の小倉義明氏です。氏は「歴史ある明治時代の建物が、豊島区の文化財として保存されていることを多くの人たちに知っていただきたい。」とポストカードを寄贈してくださいました。（※女子聖学院は1905（明治38）年、来日当初にマッカーレブが住んでいた外国人居留地・聖地12番館を借りて、マッカーレブと同じティサイブル派の宣教師パーサー・F・クロウソンが開いた学校です。）

◆1月26日（火）～ 付属棟2F事務室でお配りします。

区指定文化財である豊島区立雑司が谷旧宣教師館が一般公開されてから、本年1月25日で満10年を迎えます。この10年間に約6万人の見学者が訪れました。開館以来、中庭ではガーデンコンサートを開催し、また雑司が谷にゆかりのあるテーマを取り上げて公開講座を企画してまいりました。

雑司が谷旧宣教師館の保存が徐々に知られるようになり、建築物の愛好者だけでなく、歩こう会や生涯学習を目的とした様々なサークルの見学コースの中に、旧宣教師館が組み込まれるようになりました。

明治時代の木造洋風建築ということで、建物紹介の取材も多く、この春には営団地下鉄「沿線だより4月号」・JR東日本「駅から歩く散歩道」(観光マップ)等に掲載される予定です。また4月から半年間、CSテレビ『西洋館・夢物語〜その知られざる歴史のドアを開けて』という番組の中で、「東京駅」「旧古河邸」などと共に建物の構造や歴史的価値を紹介される予定になっています。



雑司が谷旧宣教師館のこの10年を振り返った時、やはり目にとまるのは来館者の方々から寄せられた膨大な量のアンケートです。「ほっとする空間です」「くつろぎました」という感想が驚くほどありました。建物が残された経緯を知らなくても、なんの説明もなくても、人々が「心安らぐ場所」と共感できるもの、それがこの旧宣教師館の存在感と言えるのかもしれませんが、副都心の一つである池袋の周辺にありながら、都会の喧騒とは無縁に四季の花々の中にひっそりと、これからもずっと今あるがたのちのままで建ち続けることでしょう。

#### 来館者の声

△児童文学の発祥の地(※)ということをはじめて知った。子どもたちに良い絵本・童話を与える運動を始めたけれどと思った。(50代、男、文京区、新聞で、初めて、徒歩、10/4)

(※子どものための文芸雑誌『赤い鳥』は、大正7(1918)年豊島区白鳥の地で創刊されました。)

△部屋の配置、材料の用い方に興味をもって参りました。静かでとても良いと思いました。掃除も行き届いて豊かな気持ちでいたがいて帰ります。(60代、男、大田区、日本テレビ『家物語』、初めて、10/7)

△Very Good! Please preserve! (素晴らしい!是非とも保存を!) (50代、都内、散歩途中、初めて、徒歩、10/20)

♡当時の趣を感じ、良い時間が過ごせました。演劇公演のため豊園を訪れました。(小泉八雲) 館内の写真はちょうど衣装の参考になりました。(40代、女、千葉県、雑誌、初めて、10/29)

♡新しい施設(公共)を作ることも大切ですが、このように古い財産を保存する事は、素晴らしいと思います。優しい時間を過ごせました。(20代、女、区内西栗鴨、知人から、初めて、1/13)

#### 花ごよみ ♪

旧宣教師館の庭は今、落葉樹はすっかり葉を落とし、常緑樹であるマンリョウ・センリョウ等が赤い実をつけて、寒々とした庭に色を添えております。春を待つジンチョウゲ・ボケ・ウメ等の花木、スイセン・クロッカス・チュリップ等の草花は、可愛い芽を出し始めました。今回は春をつける花木ジンチョウゲを紹介します。

科名 ジンチョウゲ科常緑低木  
花期 2月~3月  
適地 半日陰/東北以南  
原産 中国



春の晴れた日には、周囲に芳香を放ち姿が見えなくても、その存在がわかるこの香りを沈香・丁子にたとえて名がつきました。樹高1m位の常緑低木。枝先に花が10~20個程たまって咲き、ふくいくたる香りで春の訪れを教えてください。

旧宣教師館のジンチョウゲは花の外側が紫紅色で内側が白い一重にある品種です。早春の一日、香りに浸って過ごしてみませんか。(反り目)

#### 【編集後記】

多くの雑司が谷旧宣教師館を愛する人に支えられ、10年が経ちました。マッケー・シップさんには建築関係の資料や情報を提供いただきありがとうございます。これらを蓄積しながら、厳しい経済状況ではありますがここならでの企画を小規模でも実現へ向けて努力いたしますのでよろしくお祈りします。(文責 浜地)